

活動年表

一般財団法人ファジィシステム研究所

令和6年 12月

一般財団法人ファジィシステム研究所の活動年表

令和 6 年度（2024 年度）

- ・法人の解散に向けた諸手続き及び作業を実施
- ・理事長 山川烈，研究鍼灸院「ヤマック鍼灸アカデミー（Yamac Academy of Acupuncture and Moxibustion Treatment: YAAMOX）」を開院（現在に至る）
- ・理事長 山川烈，九州情報大学 客員教授を兼任（現在に至る）
- ・「Joint 13th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 25th International Symposium on Advanced Intelligent Systems」(SCIS&ISIS2024)」に協賛
- ・2 学会のシンポジウム等に協賛
- ・令和 6 年 6 月末をもって，日本知能情報ファジィ学会の事務局業務を返却

令和 5 年度（2023 年度）

- ・評議員会において，法人の存続期間を令和 7 年 3 月 31 日までとすることを決議
- ・3 学会のシンポジウム等に協賛
- ・令和 5 年度末をもって，北九州学術研究都市の「共同研究開発センター」における，IC の試作支援，技術指導，施設管理等の業務を終了
- ・令和 5 年度末をもって，バイオメディカル・ファジィ・システム学会および進化計算学会の事務局業務を返却

令和 4 年度（2022 年度）

- ・独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（3 課題）を実施
- ・玄 光男特別研究員が，コンピュータサイエンス分野の 2023 年版のランキングにおいて，日本国内で第 6 位，世界で第 1,205 位にランクされ，"2023 - Research.com Computer Science in Japan Leader Award"が授与
- ・「Joint 12th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 23th International Symposium on Advanced Intelligent Systems」(SCIS&ISIS2022)」に協賛
- ・グッドデザイン九州 2022 展覧会に，2001 年の受賞内容のその後の展開を，「I C 技術の体験型研修プログラム－ I C 製造企業以外の人々に IC 製造技術研修の機会を提供－」として展示
- ・3 学会のシンポジウム等に協賛



グッドデザイン九州 2022 展覧会のパネル

令和 3 年度（2021 年度）

- ・理事長 山川烈が，はり師ときゅう師の免許を取得。
鍼灸刺激による血管弛緩のモデリングとその検証等の研究を開始。
- ・独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（4 課題）を実施
- ・福島邦彦特別研究員に，米国で最も歴史のある研究・教育組織である The Franklin Institute より「"2021 Bower Award and Prize for Achievement in Science"が授与
- ・3 学会のシンポジウム等に協賛
- ・令和 3 年度末をもって，日本神経回路学会の事務局業務を返却



The Franklin Institute のホームページ

令和2年度（2020年度）

- ・ **理事長（代表理事）が、内野英治から山川烈に交代**
- ・ 独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（4課題）を実施
- ・ 「Joint 11th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 21th International Symposium on Advanced Intelligent Systems」(SCIS&ISIS2020)」に協賛
- ・ 3学会のシンポジウム等に協賛

平成31年度・令和元年度（2019年度）

- ・ **内閣総理大臣から、公益目的支出計画の実施完了の確認書を受領**
- ・ 独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（3課題）を実施
- ・ 福島邦彦特別研究員が、公益財団法人高柳健次郎財団より「高柳健次郎賞」を受賞
- ・ 所長 山川烈が、「第58回日本生体医工学会大会」において、「拜啓：生体医工学を目指す若手研究者の皆様へ」というタイトルで特別講演を実施
- ・ 「5th International Conference on Soft Computing in Data Science (SCDS2019)」に協賛
- ・ 中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第13回）」を実施
- ・ 3学会のシンポジウム等に協賛



高柳健次郎賞の贈呈式の様子

平成30年度（2018年度）

- ・ 独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（8課題）を実施
- ・ 福島邦彦特別研究員が、一般社団法人電子情報通信学会の「名誉員」に推薦
- ・ 「Joint 10th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 19th International Symposium on Advanced Intelligent Systems in conjunction with Intelligent Systems Workshop 2018 (SCIS&ISIS2018)」に協賛
- ・ 中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第12回）」を実施
- ・ 4学会のシンポジウム等に協賛

平成29年度（2017年度）

- ・ 独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（9課題）を実施
- ・ **江口正徳主任研究員の研究課題が、科学研究費助成事業（科学研究費補助金）若手研究（A）に採択。**
研究課題名：「誘電泳動を駆使した循環腫瘍細胞検出システムの実用化にむけた基盤技術の開発」
- ・ 玄 光男特別研究員が、リスボンで開催された CIE47 国際会議(The 47th International Conference on Computers & Industrial Engineering)において、「CAREER AWARD」を受賞
- ・ 福島邦彦特別研究員が、ELM 2017 (2017 International Conference on Extreme Learning Machine) において、「Pioneer Award (for the contribution in Deep Learning)」を受賞



CAREER AWARDの賞状

- ・ 福島邦彦特別研究員が、日本神経回路学会より「学術賞」を受賞
- ・ 福島邦彦特別研究員が、一般社団法人電子情報通信学会より「功績賞」を受賞
- ・ 「Joint 17th World Congress of International Fuzzy Systems Association and 9th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems (IFSA-SCIS2017)」に協賛
- ・ 「第8回ユニーク・自作チップ・コンテスト in ひびきの」を実施

- ・中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第11回）」を実施
- ・3学会のシンポジウム等に協賛
- ・**バイオメディカル・ファジィ・システム学会の事務局業務を開始**

平成28年度（2016年度）

- ・独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（10課題）を実施
- ・**所長 山川の研究課題が、科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（A）に採択**
研究課題名：「ソフトウェアコンピューティングと誘電泳動現象を利用した血中微量循環腫瘍細胞の早期同定」
- ・江口正徳主任研究員が、国立研究開発法人科学技術振興機構の研究成果展開事業マッチングプランナープログラムによる研究を実施
研究開発課題名：「チップレス高感度振動センサの開発とワイヤレスセンサネットワークへの応用」
- ・所長 山川烈が、The 23rd International Conference on Neural Information Processing (ICONIP2016)において、この会議の主催団体である APNNS (Asia Pacific Neural Network Society) から、「2016 APNNS Outstanding Achievement Award」を授与された
- ・玄 光男特別研究員の論文が、IEEE Transactions on Semiconductor Manufacturing 誌の昨年の同誌掲載論文の中から、査読者による評価で、Best Paper に選出
- ・「Joint 8th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 17th International Symposium on Advanced Intelligent Systems(SCIS&ISIS2016)」に協賛
- ・「The 23rd International Conference on Neural Information Processing (ICONIP 2016)」に協賛
- ・「第7回ユニーク・自作チップ・コンテスト in ひびきの」を実施
- ・中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第10回）」を実施
- ・2学会のシンポジウム等に協賛
- ・**進化計算学会の事務局業務を開始**



APNNS Outstanding Achievement Award の盾

平成27年度（2015年度）

- ・独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（6課題）を実施
- ・理事長 山川烈，崇城大学 理事・副学長（研究担当）を兼任（2018年3月まで）
- ・椎塚久雄特別研究員が、日本知能情報ファジィ学会より「功績賞」を受賞
- ・「7th Edition of the International Conference on Electronics, Computers and Artificial Intelligence (ECAI2015)」に協賛
- ・「The Tenth International Conference on Innovative Computing, Information and Control (ICICIC2015)」に協賛
- ・「第6回ユニーク・自作チップ・コンテスト in ひびきの」を実施
- ・中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第9回）」を実施
- ・3学会のシンポジウム等に協賛

平成26年度（2014年度）

- ・独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（7課題）を実施
- ・独立行政法人科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業による研究（1課題）を実施
- ・水本雅晴特別研究員が、IEEE Computational Intelligence Society の「2014 Fuzzy Systems Pioneer Award」を受賞
- ・玄 光男特別研究員及び林林主任研究員が、The Eighth International Conference on Management Science and Engineering Management において「Grand Prize」を受賞



Grand Prize の賞状

- ・「Joint 7th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 15th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS2014)」に協賛
- ・「第5回ユニーク・自作チップ・コンテスト in ひびきの」を実施
- ・中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第8回）」を実施
- ・3学会のシンポジウム等に協賛

平成 25 年度（2013 年度）

- ・独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（6 課題）を実施
- ・独立行政法人科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業による研究（1 課題）を実施
- ・江口正徳主任研究員の研究課題が、科学研究費助成事業（科学研究費補助金／学術研究助成基金助成金）若手研究（A）に採択。

研究課題名：「白血病細胞を特徴付ける誘電泳動特性の探索とそれに基づく細胞同定法の開発」

- ・理事長 山川烈，崇城大学 客員教授を兼任（2018 年 3 月まで）
- ・特別研究員制度を開始
- ・北九州学術研究都市において誘電泳動に関する国際ワークショップ「International Workshop on Dielectrophoresis and Its Applications (DEP Workshop 2013)」を開催（主催）
- ・中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第7回）」を実施
- ・3学会のシンポジウム等に協賛



DEP Workshop 2013 のホームページ

平成 24 年度（2012 年度）

- ・独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（4 課題）を実施
- ・独立行政法人科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業による研究（1 課題）を実施
- ・一般財団法人キヤノン財団の研究助成プログラムによる研究（1 課題）を実施
- ・公益財団法人飯塚研究開発機構の研究助成プログラムによる研究（1 課題）を実施
- ・「The 9th International Conference on Intelligent Manufacturing and Logistics Systems (IML2013) in Conjunction with ISMI2013」を開催（共催）
- ・「第4回ユニーク・自作チップ・コンテスト in ひびきの」を実施
- ・中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第6回）」を実施
- ・2学会のシンポジウム等に協賛

平成 23 年度（2011 年度）

- ・独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（2 課題）を実施
- ・独立行政法人科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業「研究開発成果実装支援プログラム」に採択され、「急性白血病の早期診断を目的とした誘電泳動による細胞検出・同定法の臨床応用」の研究を開始
- ・一般財団法人キヤノン財団 研究助成プログラム「産業基盤の創生」に採択され、「誘電泳動現象を用いた白血病細胞の分離・同定」の研究を開始
- ・「International Workshop on Evolutionary Algorithms for Material/Nanomaterial Science (EAMS2011)」を開催（共催）
- ・「The 2012 International Symposium on Semiconductor Manufacturing Intelligence (ISMI2012)」を開催（共催）
- ・「第3回ユニーク・自作チップ・コンテスト in ひびきの」を実施
- ・中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第5回）」を実施
- ・3学会のシンポジウム等に協賛

平成 22 年度（2010 年度）

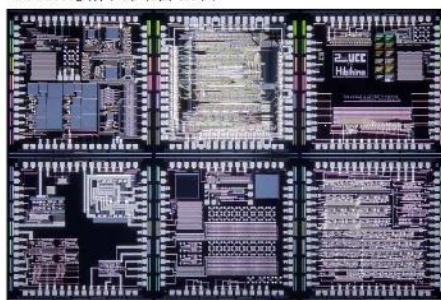
- ・ **公益法人制度改革に伴い、
内閣総理大臣の認可を得て、一般財団法人に移行**



一般財団法人への移行認可書

- ・ CIE40, EAW'11, IML2011 の各国際会議に協賛
- ・ 「第 2 回ユニーク・自作チップ・コンテスト in ひびきの」を実施

UCC2010試作チップ(6面マルチ)



応募者が設計した試作チップ



表彰式の様子

- ・ 中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第 4 回）」を実施
- ・ 「第 2 回 CADET（カデット）・シンポジウムーてんかん治療の原点は新しい情報の収集と強い意志ー」を開催
- ・ 2 学会のシンポジウム等に協賛

平成 21 年度（2009 年度）

- ・ 連携促進助成金事業「MEMS 誘電泳動デバイスによる単一細胞抽出法の開発」の研究を開始
- ・ **「第 1 回ユニーク・自作チップ・コンテスト」を実施**
- ・ 中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第 3 回）」を実施
- ・ IEEE-RO-MAN2009, WIND'09, WSC14, APIEMS2009, IML2010 の各国際会議に協賛
- ・ 3 学会のシンポジウム等に協賛

平成 20 年度（2008 年度）

- ・ **理事長が、山川烈から内野英治に交代**
- ・ 副理事長の山川烈が米国電気電子学会(IEEE)フェロー賞を受賞
- ・ 中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第 2 回）」を実施
- ・ EAW'09 および CADET2009 の国際会議に協賛
- ・ 3 学会のシンポジウム等に協賛

平成 19 年度（2007 年度）

- ・ 「International Conference on Soft Computing and Human Sciences - New Development Beyond the 20th Anniversary of BMFSA -」および「第 14 回国際神経情報処理会議 (ICONIP 2007)」に協賛
- ・ 「第 58 回産学交流サロン～ひびきのサロン～ <自動最適化設計とその応用／微細加工アプリケーション事例>」を、財団法人北九州産業学術推進機構と共催
- ・ **中学生と高校生を主な対象として、「ICプロセス体験道場（第 1 回）」を実施**



ICプロセス体験道場の様子

- ・3学会のシンポジウム等に協賛
-

平成 18 年度（2006 年度）

- ・「脳情報工学に関する国際会議（BrainIT2006）」に共催団体として協力
 - ・3学会のシンポジウム等に協賛
-

平成 17 年度（2005 年度）

- ・「脳情報工学に関する国際会議（BrainIT2005）」に共催団体として協力
 - ・3学会のシンポジウム等に協賛
-

平成 16 年度（2004 年度）

- ・ベンチャー学会「第7回全国大会」に協賛
 - ・バイオメディカル・ファジィ・システム学会「第17回年次大会」に協賛
 - ・**日本神経回路学会の事務局業務を開始**
-

平成 15 年度（2003 年度）

- ・財団法人福岡県産炭地域振興センターの研究助成プログラムにより、「自己組織化マップを用いた適応型ウェブマーケティングシステムの研究開発」を実施
 - ・「自己組織化マップに関する国際ワークショップ（WSOM'03）」に協賛
 - ・「ICフォーラム」を開催
 - ・バイオメディカル・ファジィ・システム学会「第16回年次大会」に協賛
-

平成 14 年度（2002 年度）

- ・副理事長 内野英治が平成 14 年 12 月 21 日（2002 年 12 月 21 日）にウクライナ科学アカデミー名誉会員（Honorary Member of Ukrainian Academy of Sciences）に推薦され表彰を受ける



ウクライナ科学アカデミー名誉会員の賞状

- ・北九州学術研究都市の「共同研究開発センター」において、ICの試作支援、技術指導、施設管理等の業務を開始。以来 2023 年 8 月までの利用者数は 2 万組以上。年間の平均利用者は約 1,000 組。



共同研究開発センターの外観



室内（クリーンルーム）



- ・バイオメディカル・ファジィ・システム学会「第15回年次大会」に協賛
-

平成 13 年度（2001 年度）

- ・「船舶の制御システムへのファジィ理論の応用に関する研究」に着手
- ・北九州学術研究都市に IC の試作が可能なクリーンルームを備えた「共同研究開発センター」が竣工したことに伴い、本財団が保有する簡易 IC 試作装置類を、同センターに移設
- ・「ICプロセス実習」が、「IC 技術の体験型研修プログラム」として、**2001 年度のグッドデザイン賞（新領域デザイン部門）を受賞**
- ・バイオメディカル・ファジィ・システム学会「第 14 回年次大会」に協賛
- ・「FLSI ソフトコンピューティングシリーズ（全 6 刊）」の内、残る 3 刊を刊行



グッドデザイン賞の賞状

平成 12 年度（2000 年度）

- ・「**第 6 回ソフトコンピューティングに関する国際会議（IIZUKA2000）を開催**
- ・バイオメディカル・ファジィ・システム学会「第 13 回年次大会」に協賛
- ・「**FLSI ソフトコンピューティングシリーズ（全 6 刊）**」を、World Scientific Publishing Co. Pte. Ltd.（シンガポール）より刊行開始。平成 12 年度中に 3 刊を刊行した。



FLSI ソフトコンピューティングシリーズ（全 6 刊）

平成 11 年度（1999 年度）

- ・「ICプロセス実習」を開催
- ・「半導体集積回路基盤技術研究会（IC 研究会）」を開催
- ・バイオメディカル・ファジィ・システム学会「第 12 回年次大会」に協賛
- ・**日本ファジィ学会（現 日本知能情報ファジィ学会）の事務局業務を開始**

平成 10 年度（1998 年度）

- ・「第 5 回ソフトコンピューティングに関する国際会議（IIZUKA'98）」を開催
- ・「ICプロセス実習」, 「ソフトコンピューティングセミナー [応用と実際]」を開催

平成 9 年度（1997 年度）

- ・高度道路情報システム（ITS）に関する調査研究を実施
- ・「ICプロセス実習」, 「ソフトコンピューティング研修」他のセミナーを開催
- ・ホームページ開設

平成 8 年度（1996 年度）

- ・「ベンチャー企業仮想企業化調査」を実施
- ・「第 4 回ソフトコンピューティングに関する国際会議（IIZUKA'96）」を開催
- ・「International Conference on Intelligent Technologies on Human-Related Sciences (ITHURS'96)」（開催地：スペイン，レーオン市）に共催団体として協力
- ・「ICプロセス実習」, 「ソフトコンピューティング研修」他のセミナーを開催

平成 7 年度（1995 年度）

- ・「青少年科学技術セミナー」, 「ファジィ制御技術研修」等のセミナーを実施

平成 6 年度（1994 年度）

- ・「第 3 回ファジィ論理，神経ネットワーク及びソフトコンピューティングに関する国際会議（IIZUKA'94）」を開催
- ・FPGA を用いたカスタムファジィチップを開発
- ・Dr. Horia-Nicolai Teodorescu（ルーマニア）を招聘
- ・「集積回路製作実習（IC プロセス実習）」を開始



Dr. Horia-Nicolai Teodorescu

平成 5 年度（1993 年度）

- ・福岡県立飯塚研究開発センターの竣工に伴い，同センター内に移転
- ・簡易 IC 試作装置を導入



福岡県立飯塚研究開発センター

- ・Dr. Horia-Nicolai Teodorescu（ルーマニア），Mr. Mario Reyes de los Mozos（スペイン），Mr. Peter Bauer（オーストリア）を招聘
- ・「ファジィ研修講座」を開催

平成 4 年度（1992 年度）

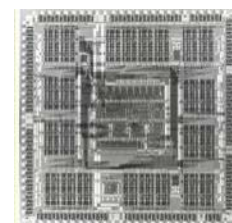
- ・カオスチップを開発
- ・「第 2 回ファジィ論理と神経ネットワークに関する国際会議（IIZUKA'92）」を開催
- ・Dr. Horia-Nicolai Teodorescu（ルーマニア）を招聘
- ・「ふるまいを創造するカオスチップ」セミナーを開催



カオスチップ

平成 3 年度（1991 年度）

- ・ファジィニューロンチップを開発
- ・Dr. Daniel G. Schwartz（米国）を招聘
- ・デルフト大学（オランダ）より，ファジィシステム研究調査訪問団を受入
- ・「特許セミナー」，「カオスセミナー」等のセミナーを開催



ファジィニューロンチップ

平成 2 年度（1990 年度）

- ・「ファジィ理論と神経ネットワークに関する国際会議（IIZUKA'90）」を開催
- ・「バイオメディカル国際会議」を開催
- ・「ファジィハードウェア実践セミナー」等のセミナーを開催

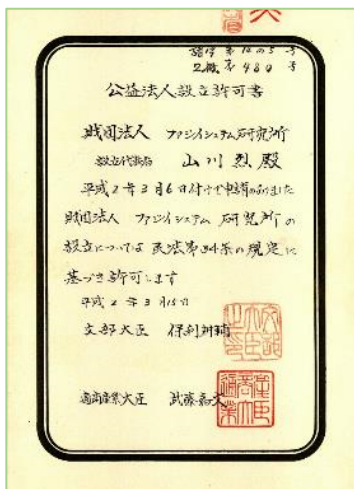
- ・ FLSI ジャーナルの刊行を開始



FLSI ジャーナル

昭和 64 年度・平成元年度（1989 年度）

- ・ 文部省と通商産業省（いずれも当時）の認可を得て、財団法人ファジィシステム研究所設立
- ・ 設立発起人代表の山川 烈（九州工業大学教授）が、理事長に就任



公益法人設立許可書



設立記念祝賀会

昭和 63 年度（1988 年度）

- ・ 「ファジィ理論と神経ネットワークに関する国際シンポジウム（IIZUKA'88）」が開催される



IIZUKA'88

- ・ 山川 烈（熊本大学助教授）が、西日本新聞社より第 47 回西日本文化賞を受賞。副賞として賞金 100 万円を授与される。この賞金と多くの企業からの出捐を基に、財団法人を設立することを決意。



西日本文化賞の賞金